



学校教育目標『つながる 続ける 創り出す』

令和6年1月9日

横浜市立三ツ境小学校

三ツ境小だより 1月号



「新しい年を迎えて」

校長 飯田 雅人

明けましておめでとうございます。令和6年が始まりました。令和という元号になって5回目の年越しでした。「令和」という元号には、「世の中を平和にさせる、という穏やかな印象にあふれ、世界が調和され、平和が永遠に達成される」というメッセージが込められているとのこと。この込められたメッセージのようにコロナ禍等を何とか乗り越え、新しい年こそ、どうか平和な一年でありますようにと願うばかりです。

さて、今年辰年。十二支の中で辰だけが架空の生き物です。辰は、古代中国では身近な生き物で、実在すると考えられていました。強運の象徴とされており、中国でも縁起の良い動物とされています。天高くのぼる竜に守られる年。三ツ境小学校においても、ぜひそんな活気あふれる年にしたいものです。



「大きいことを考え、小さいことを大切にする。」これは、松下幸之助氏の言葉です。時代の大きな流れや節目を感じて目標を立てるとともに、日々の積み重ねや小さな出来事を大切にする。子どもたちの未来に向き合うという教育の営みにおいても大切にしたいメッセージです。夢や目標を実現するために、一日一日わずかでも努力を積み重ねることは、大切なことです。有名な「1.01の法則（1.01の365乗は約37.78）」に例えれば、1.00をもとにして考えた時、1パーセントであっても努力を続ければ、1年の後にもとの37倍以上になっているというものです。

これは、子どもの成長にもつながることだと思います。自分は伸びると信じて、一日一日わずかでもこつこつと努力を積み重ねれば、やがては確かな成長や効果につながっていきます。ほんの少しの努力によって、1年でこれだけ違うのですから、日々の積み重ねは、まさに「宝」であるといえるでしょう。私たち周りの大人は、子どもたちが自分の夢や目標を意識したり、そこに近づくための日々の積み重ねを大切にしたりする姿に対して、温かく、そして時には厳しくかわりながら、子どもたちの成長を支えていきたいものです。

さて、私たち教職員も子どもたちの毎日の笑顔を励みとして、少しずつ歩んでいきたいと思っています。昨年同様、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、引き続き本校の学校教育活動へのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。